



# 婚姻届の例

別紙2 (1 / 2)

## 婚姻届

令和 年 月 日 届出

長 殿

受理 令和 年 月 日	送 付 令和 年 月 日	発 送 令和 年 月 日
第 号	第 号	第 号
書類調査	戸籍記載	記載調査
調査票	附 票	住民票 通 知

(1) 氏 名	夫 にな る 人		妻 にな る 人	
	氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
生 年 月 日	年 月 日		年 月 日	
(2) 住 所	世帯主の氏名		世帯主の氏名	
	番地 番		番地 番	
(3) 本 籍	筆頭者の氏名		筆頭者の氏名	
	父 母		父 母	
父母及び養父母の氏名 父母との続き柄	続き柄 男		続き柄 女	
	続き柄 養 子		続き柄 養 女	
(4) 婚姻後の夫婦の氏・新しい本籍	新本籍 (左の□の氏の人だけがすでに戸籍の筆頭者となっているときは書かないでください)		番地 番	
	□夫の氏		□妻の氏	
(5) 同居を始めたとき	年 月 (結婚式をあげたとき、または、同居を始め) たときのうち早いほうを書いてください			
(6) 初婚・再婚の別	□初婚 再婚 (□死別 □離別 年 月 日)		□初婚 再婚 (□死別 □離別 年 月 日)	
(7) 同居を始める前の夫妻のそれぞれの世帯のおもな仕事と	□天 □妻 1. 農業だけまたは農業とその他の仕事を持っている世帯		□天 □妻 2. 自由業・商工業・サービス業等を個人で経営している世帯	
	□天 □妻 3. 企業・個人商店等(官公庁は除く)の常用勤労者世帯で勤め先の従業員数が1人から99人までの世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5)		□天 □妻 4. 3にあてはまらない常用勤労者世帯及び会社団体の役員の世帯(日々または1年未満の契約の雇用者は5)	
(8) 夫妻の職業	夫の職業		妻の職業	
	夫		妻	
届出人署名 (※押印は任意)	夫 印		妻 印	
事件簿番号				

別紙2 (2 / 2)

### 記入の注意

鉛筆や消えやすいインキで書かないでください。  
 この届は、あらかじめ用意して、結婚式をあげる日または同居を始める日に出すようにしてください。その日が日曜日や祝日も届けることができます。  
 夫になる人または妻になる人の本籍地に出すときは2通、そのほかのところに出すときは3通出してください(役場が相当と認めたときは、1通で足りることもあります)。  
 この届書を本籍地でない役場に出すときは、戸籍謄本または戸籍全部事項証明書が必要ですから、あらかじめ用意してください。

証 人		
署 名 (※押印は任意)	印	印
生 年 月 日	年 月 日	年 月 日
住 所		
本 籍	番地 番	番地 番

「筆頭者の氏名」には、戸籍のはじめに記載されている人の氏名を書いてください。

□には、あてはまるものに□のようにしるしをつけてください。  
 外国人と婚姻する人が、まだ戸籍の筆頭者となっていない場合には、新しい戸籍がつくれますので、希望する本籍を書いてください。

再婚のときは、直前の婚姻について書いてください。  
 内縁のものはふくまれません。

届け出られた事項は、人口動態調査(統計法に基づく基幹統計調査、厚生労働省所管)にも用いられます。



# 戸籍謄本の例

(1の1)

全部事項証明

本籍	埼玉県〇〇市××町1番地2号
氏名	教育 信次
戸籍事項 戸籍改製	【改製日】令和4年1月21日 【改製事由】平成6年法務省令第51号附則第2条第1項による改製
戸籍に記録されている者	【名】信次 【生年月日】平成元年3月21日 【配偶者区分】夫 【父】教育 勇作 【母】教育 由紀恵 【続柄】二男
身分事項 出生	【出生日】平成元年3月21日 【出生地】埼玉県〇〇市 【届出日】平成元年3月25日 【届出人】父
婚姻	【婚姻日】平成30年9月11日 【配偶者氏名】図書 透子 【従前戸籍】埼玉県〇〇市××町1番地2号 教育勇作
戸籍に記録されている者	【名】透子 【生年月日】平成2年10月10日 【配偶者区分】妻 【父】図書 善一 【母】図書 米子 【続柄】二女
身分事項 出生	【出生日】平成2年10月10日 【出生地】熊本県〇〇市 【届出日】平成2年10月14日 【届出人】母
婚姻	【婚姻日】平成30年9月11日 【配偶者氏名】教育 信次 【従前戸籍】熊本県〇〇市××町4番地 図書善一
	以下余白

発行番号〇〇〇〇〇〇〇〇

これは、戸籍に記録されている事項の全部を証明した書面である。

令和〇年〇月〇日

埼玉県〇〇市長××××

電子  
公印